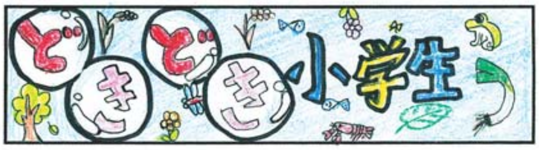
NIE特集
Newspaper In Education

毎月第2・4火曜日発行



岩切小

学校名　仙台市立岩切小学校　　校　長　相馬　潤子
所在地　仙台市宮城野区岩切今市東1の2　児　童　927人
電　話　022（255）8012

うきうきキャンバス

モモちゃん　5年・白石涼帆

くだもの　1年・佐藤涼花

公園であそぼう　2年・佐藤歩未

わたしのステンドグラスオルゴール　6年・丹野かおり

便利なゾウさん　4年・高橋綾菜

くじらのあくび　1年・岩井凜

夜空に見とれる小犬たち　3年・山田璃音

歴史の深さ 城跡で実感

岩切の歩みを探る！

知り隊

岩切小の六年生は昨年春「岩切歴史探検」をして、身近な所にさまざまな歴史があることに驚きました。わたしたち取材班は、もっとくわしく、岩切の歴史を知りたいと思い、「岩切歴史探訪の会」顧問の三浦昇さん(六八)に教えていただきました。そして、岩切にもかつてお城があり仙台の街が発展する以前に栄えていた時代もあったこと、あの伊達政宗が今市地区を開発してくれたことが分かり、みんなでびっくりしました。

「岩切城」とはどんな城だったのか？ わくわくしながら、三浦さんのお宅にある模型を見ましたが、想像していたのとは違っていました。そこには、建物がなかったからです。「岩切城」が建てられたのは、鎌倉時代。その当時、地方のお城は「掘っ立て櫓」だったそうです。「山城」といって石垣がない代わりに、がけや急な谷など自然の土地をうまく利用し高台に構えてありました。お城の地形は、入り組み結構な広さがありました。

岩切城について模型を使って説明してくれた三浦さん

舟運栄えた七北田川

実際に岩切城跡がある、宮城県民の森入り口付近の高森山に行ってみると、とても見晴らしのいい場所にありました。模型通りすごいがけがあり、山道は険しくて、簡単には敵から攻められにくい城だったことが分かりました。馬出虎口という枡形に造られた道が数カ所、今でも残っていました。敵の馬を通りにくくしたり、そこに橋を架けていざというときにその橋を上げたりする工夫をしていたそうです。

岩切城の主は、伊沢家景です。後に留守氏と名前を変えた家景は、あの有名な源頼朝に任命されて、岩切の主になりました。頼朝と岩切は関係があったということです。

さらに驚いたのは、わたしたちになじみの七北田川には海から舟が行き来し、市場が開かれ、岩切は大変栄えていたことです。結局、家景はこの地で戦いに敗れてしまったそうです。

そして、江戸時代。今市地区を新町として開発させたのが、伊達政宗です。主要道路は、今でも利用されています。

◇　◇

この岩切にも、仙台の街よりも栄えた時代があり、戦いが起きた時代もあったと知って、ほかの所にも負けない歴史の深さがあることが分かりました。

文・星由希奈、吉田瑞生、二木大地、高橋正伍（6年）

言い隊

■「今を大切に」生きる■

先日、久しぶりに幼い時のアルバムを見ました。顔はあんまり変わっていませんでしたが、こんなに小さかったんだと思いました。

自分では気づきませんでしたが、十二年間生きてきた中で、少しずつ成長していることを実感しました。これから先、悲しいこともつらいこともたくさんあると思いますが、「今を大切に」生きていこうと思います。

大人になってから過去をふり返っても「あのころは楽しかったな」と自分をほめてあげられるような人生にしたいです。みなさんも、毎日の一瞬一瞬を大切にしていきましょう。

（6年・村上瑠）

■きちんと分別しよう■

最近、テレビや新聞で環境問題について取り上げられています。そこで気になっているのが、大人の方々が環境問題について、基本的な知識を持っているのか、そして、それを実践しているのかということです。

例えば、ごみ集積所には、たくさんのごみ袋があります。ごみのほとんどはリサイクルできる紙です。リサイクルにしっかり取り組んでいるのでしょうか。分別をきちんと行っているのでしょうか。

一人一人が環境問題についての意識を持って、責任を果たして行うことが何より大事だと僕は思います。みなさん、今からエコしましょう。

（6年・中山徹倫）

教え隊　スクールエコプラン

「節電節水」呼びかけ

天水桶から、花にかける水をじょうろにくむことができます

岩切小では、屋上のソーラーパネルで発電し、天水桶の雨水をお花の水かけに使っています。他校にはあまり見られない設備だそうです。

また、環境委員会が中心になり学校でエコを意識した活動もしています。「スクールエコプラン」に挑戦し、毎月使用した電気や水の量を掲示して節電節水を呼びかけています。

これからも環境を良くするようわたしたちでも、できることは進んで取り組んでいきたいと思います。

文・鎌田真帆（6年）

編集後記

新聞作りの活動を通して、今まで知らなかったことが分かり、本当によかったです。いろいろ教えてくださった三浦昇さんは「岩切歴史探訪の会」という会に所属され、地域の歴史について、本で調べたり、実際に調査したりしています。

今度、岩切の歴史についての本を出版されるそうです。ご自宅には、壁一面に本や、さまざまな資料がたくさんありました。

わたしたちの身近な所に、地域のことについて熱心に研究されている方がいらっしゃることも分かりました。わたしたちも、岩切のことを次の世代に伝えていきたいと思います。優しく教えてくださった三浦さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

＜編集委員＞緑上悠太、村上瑠、高橋正伍、星由希奈、二木大地、鎌田真帆、中山徹倫、吉田瑞生（6年）
題字デザイン　千葉祥子（6年）
＜指導教諭＞相沢きみ、奥山紀子

次回（24日）は宮城野小（仙台市）と石巻小（石巻市）です。

新聞作りに参加する小学校を募集しています。申し込みや問い合わせは河北ＮＩＥ推進事務局022（211）1331へ。